

WE 21 Japan News

WE 21ジャパンニュース



特集

みんなつながって みんでいる 自然の仲間たち

めぐり めぐり

CONTENTS

特集	
みんなつながって生きている	
自然の仲間たち	1〜4
ガラス・陶磁器再資源化エコアクション	5
お知らせ	6

No. 57

WE 21ジャパンニュース

みんなつながって 生きている 自然の仲間たち

2010年10月、名古屋で開催された国際会議(第10回生物多様性条約締約国会議)では、自然環境の保全や、製薬等に有効な遺伝子を持つ生き物の利用について話し合われました。

このような問題を国際会議で話し合うのは、近年、生き物がかつてないスピードで地球上から姿を消している現実があるからです。

WE21ジャパンは、アジアを中心に平和のネットワークづくりをめざし、リユース・リサイクル環境事業を通して、市民の生活基盤とも言える自然環境の保全や、人権・貧困問題に深い関心を持って活動を進めています。

今回は、私たちの日々の暮らしが地球にどのくらい影響を与えているのか、また地球上に棲み暮らす他の生き物とどのように共生していったらよいのか、その方法を考えます。

地球の生き物の3分の1が姿を消した

地球には3000万種とも言われるたくさんの植物や動物が棲み暮らしています。すべての生き物はひとりで生きることではできず、他の生き物を食べて利用する食物連鎖や、動物が吐き出す二酸化炭素を植物が吸収して酸素を

供給する光合成等、生き物同士が相互に関わり合いながら生きています。このような生き物同士のつながりの多様さや豊かさが、1970年時点と比べて30%近く失われてしまいました。

その絶滅のスピードは、食物連鎖で自然に淘汰されていくスピードと比べると1000、10000倍も早くなっています。特に環境の変化に極めて敏感なカエル、イモリ等の両生類や、

マツ、スギ、ヒノキ等、材木になる針葉樹を代表する裸子植物は、その30%以上が絶滅危惧種です。また2050年までに、さらに陸上で11%の自然がなくなると言われています。

命をつないでいくために

私たち人間は、日々を暮らしていくために森や海で育まれた自然の恵みを利用しています。麦、米、野菜、肉、魚という食料として、また体温を調節し皮膚を保護する衣服として、雨風をしのぐ住居として、それから体調を整え病を治す薬等、人間が命をつないでいくためには欠かせないものです。近年まで、私たちは自分の暮らす地域の中で必要なものを手に入れ、必要な分を必要だけ、村の中で分け合いながら生きてきました。

また森林や河、湖沼、海は、大雨が降っても洪水を起こりにくくし、汚れた水を浄化させ、病気や害虫の発生を抑える等、さまざまな自然環境の変化を最小限に抑える調整機能を果たしています。そして四季がある日本では、各地域で季節に応じた行事や食の文化が育まれ、朱鷺(とき)色や萌葱(もえぎ)色等の表現があるように、自然と一体となった多様な文化や宗教が育まれてきました。

生き物は「資源」という商品へ

46億年という、地球の歴史から見ると一瞬の間に、なぜ3分の1もの生き物が地球上から



▲インドネシアの森林から切り出される木材 (FAO,Simmons Rose,FO-5227)

姿を消してしまつたのでしょうか？その理由は、私たち人間の自然との関わり方が、時代とともに変わってきてしまつたことにあります。

日本の人びとは昔から、質の高い製品を丁寧に扱い、修理を繰り返してなるべく長い間使ってきました。しかし高度経済成長期を迎えて、大半の人びとが高水準の暮らしができるようになったと、企業はさらに膨大な数の新製品を次々と売り出し、消費者は購入した製品の寿命が終わるのを待たずに、目新しい、より安い製品を追い求めていくようになりました。生産から消費、廃棄までのサイクルが短くなり、大量生産、大量消費、大量廃棄というライフスタイルに突入していったのです。

日本の大量生産を可能にしたのは、海外の森林や農地、牧草地、漁場でした。日本にも豊富な森林や海があるにもかかわらず、海外のより安い自然資源を買い求めて生産、消費するという道を歩んできました。

製品の素材が海を越えた遠くの国で調達されることで、自分が手にしているものが、どのようなものか追

からできてきたのかを想像することが難しくなり、めまぐるしく変わっていく流行や価格破壊の中で、私たち人間は生き物を「資源」という商品として考えるようになっていったのです。

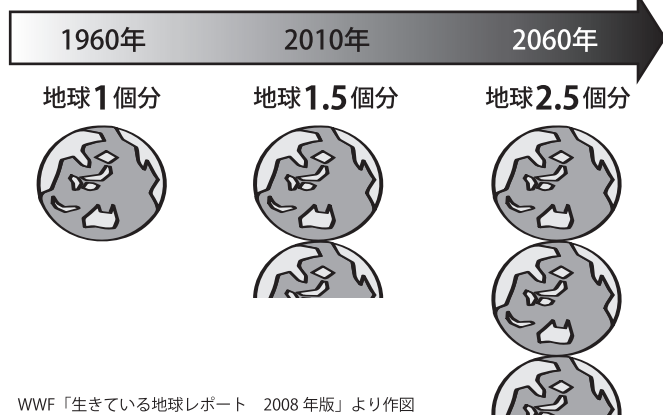
アジア・アフリカの発展途上国では、日本を含む先進国への輸出を目的とした大規模な開発によって、木材の切り出しのために伐採された森林がそのまま放置されハゲ山となったり、より安い輸出入作物を生産するために、一つの品種だけを一度に大量に栽培するプランテーション農業が広がり、多様な生き物の生息環境を奪う等、豊かな自然環境が破壊されていきました。そして自然と共生しながら食料を得て自給自足の暮らしを送っていた現地の人びとは、政府や企業から何の保障もな

地球1.5個分の暮らし

今の私たちの暮らしは、地球環境にどのくらい負担をかけているのでしょうか？それを表した指標「エコロジカル・フットプリント」※で見ると、世界全体で地球1.5個分の資源を使って暮らしていることが分かっています。

地球を構成している水や土、空気は、自然の中で循環しながら一定の期間で浄化され、また使えるように再生産されています。しかし人間が農林業・牧畜業・漁業・工業によって資源を消費するスピードがあまりに速いため、地球が生き物を再生産するスピードが追

人間が地球環境にかけている負担の大きさ エコロジカル・フットプリント



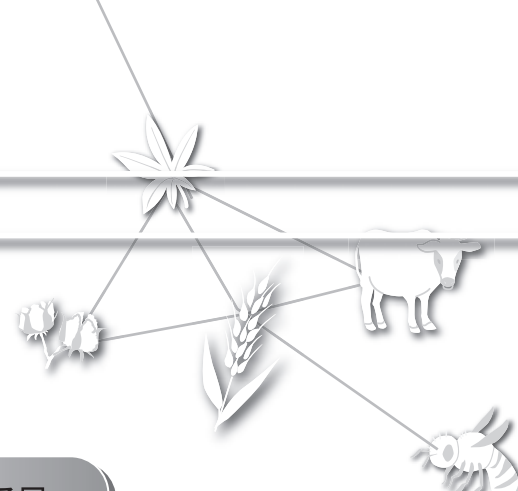
WWF「生きている地球レポート 2008年版」より作成

いつかず、将来使うために取っておかなければならない原資まで食いつづけている状態です。

使いすぎの最も大きな原因は、エネルギーを供給するため、石炭や石油等の化石燃料の消費が増えたことです。1980年代には消費が地球1個分の生物生産力を上回り、このままのスピードで進むと、2060年には世界の人口増加も含めて地球2.5個分の資源を食いつづす社会がやってくると予測されています。

注釈

※さまざまな資源の消費量を基に、国内外で必要な農地や森林、海の広さを計算して、それを「グローバル・ヘクタール」という新しい面積単位で示した理念上の数値。人間の経済活動が地球環境に「負担」という足跡をどのくらい付けているのかが分かる。



日本の私たちは？

私たちが暮らす日本は、国土が持つ生物生産力や吸収力の2.5倍以上の資源を消費しており、世界で最も消費が激しい国の一つです（左図参照）。国内だけではなく、海外からたくさんの資源を輸入して、その消費をまかなっているのです。

では日々の暮らしの中では、どのような部分が地球環境に負担をかけているのでしょうか？日本では最も大きな原因は家庭における消費と言われています。そのうち3分の1が食料です。しかし一方で、年間1380トンもの食料廃棄もあり、これは全世界の食糧援助にまわされる量の1.7倍に相当します。そのため、この廃棄を減らすことが地球環境への負担を減らすことにつながるのではないかとされています。

生き物を取りもどす世界の取り組み

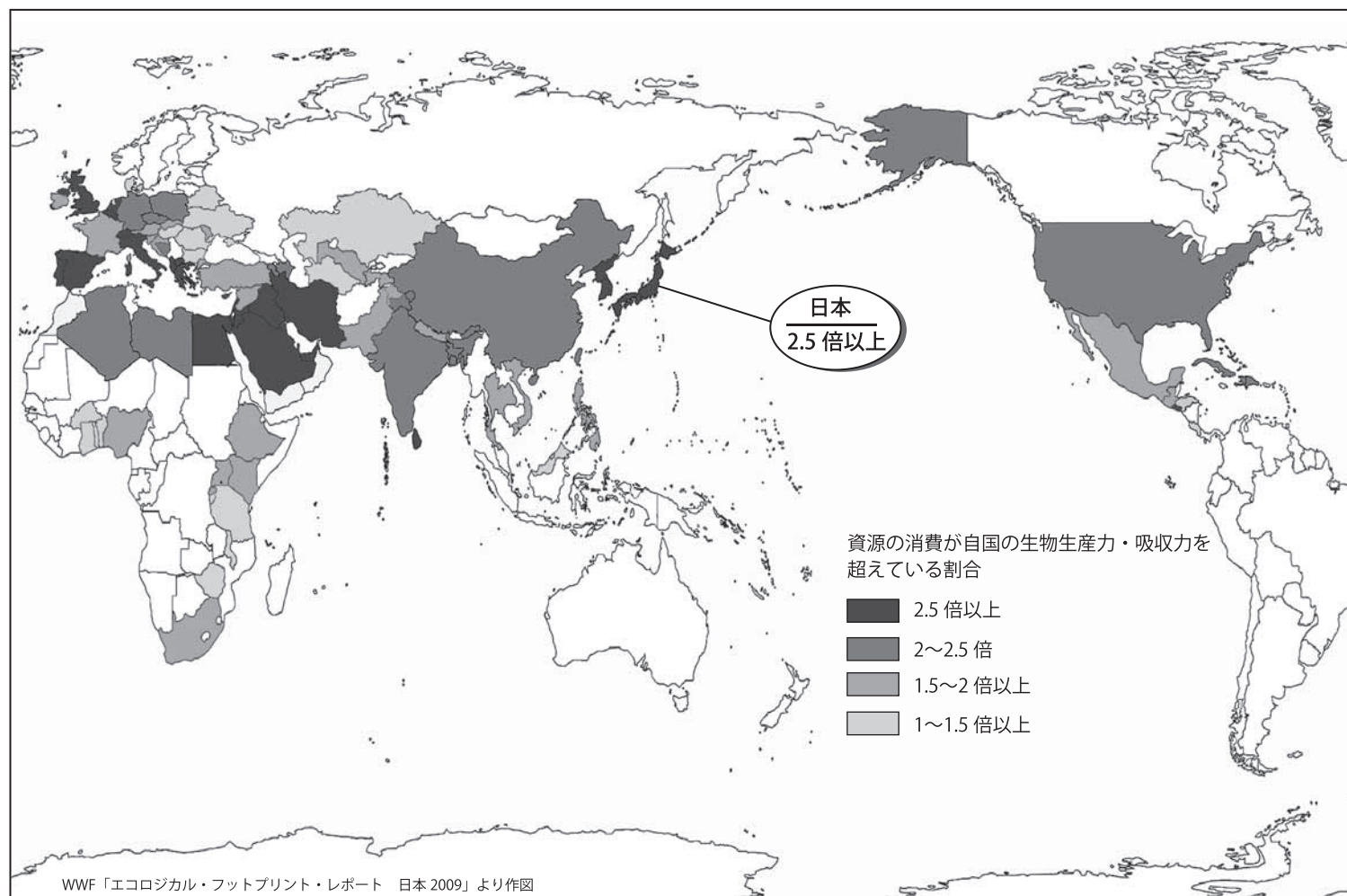
2010年10月に名古屋で開催された第10回生物多様性条約締約国会議には、日本を含む179ヶ国から政府、国際機関、NGO等1万3000人以上が参加しました。地球上の多様な生き物とその生息環境を保全し、人間が将来にわたつてどのように資源を利用し、その利益を世界でどのように分け合っていけばよいのかが話し合われ、全会一致で今後の取り組みが決まりました。その中には、日本のNGOから成る「生物多様性条約市民ネットワーク（CBD）」の提案をもとに日本政府が提案した二つの案が各国の賛同で採択されるなど、日本の環境NGOが政府との協働で今までにない成果を上げた会議でもありました。

衣類や雑貨のリユース・リサイクルで生き物を守る

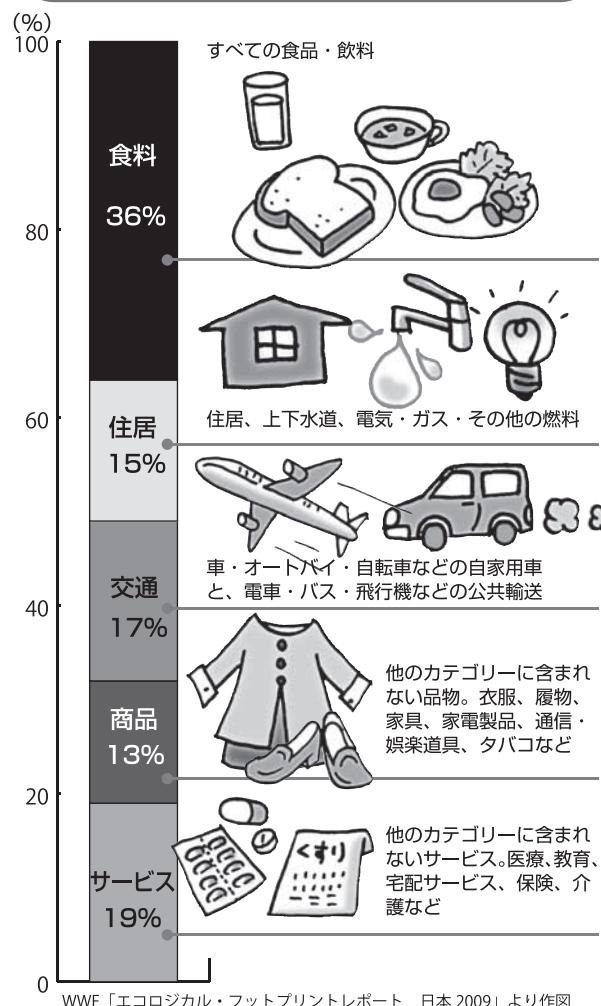
1992年にこの条約が作られた時、その前文の原案にはこのような文章があったそうです。「人類が他の生物と共に地球を分かち合っていることを認め、それらの生物が人類に対する利益とは関係なく存在していることを受け入れる」この文章は最終的には削除されてしまったのですが、人間が地球を自分たちのものだと考えていることが、今日、たくさんの生き物が失われている一番の原因なのです。

生き物やその生息環境を保全することは大切なことです。農産物や工業製品の多くを海外の資源に依存している日本は、私たちのライフスタイルが海外の自然環境やそこで生きている人びとにどのような影響を与えているのか、地球全体を見て考えていくことが重要です。私たちの暮らしには欠かせない衣類の多くは、綿・麻等の植物や動物の毛・皮（ウールやカシミア等）からできています。日本で販売されている衣類の90%は、海外、主に中国やバングラデシュで生産されたものです。WEシヨップでは、そのようにして生産された衣類や雑貨を寄付してもらい、それを欲しいと思っている方に販売しています。限りある資源を最後まで大切にリユース・リサイクルしていくことは、地球上の生き物を守ることにつながり、私たちの暮らしを持続可能なものにしていきます。私たちはこの限られた地球の資源をみんな

自国の生物生産力・吸収力を超えて、資源を消費している国



家庭の消費活動における地球環境への負担割合



私たちができること

地球1個分の暮らしに戻るために——

で分け合い、ともに生きている仲間であるという意識を持って暮らしていくことが、50年後、100年後の世代も自然の恵みを受けながら生きていくことができる世界をつくらなければならないかと思っています。

◆消費スタイルを変える

- 無駄なものは作らない（Reduce）、再使用する（Reuse）、元の原料に戻して違う製品に使用する（Recycle）、3Rを進める
- 持続的に利用していきけるよう、自然環境に配慮して生産された製品（FSC・MSC認証ラベルが付いた製品等）を選んで使う
- 生き物の保全や有機農業等に取り組む企業の製品を選んで応援する

◆自然とふれあう

日本には多様な生き物や豊かな生息環境がまだ多く残されています。家庭菜園やハイキング等を通じて自然とふれあいながら、切り離されてしまった私たちの暮らしを自然ともう一度結び付け、気付いたことをまわりの人に伝えていく。

◆世界の動きやしぐみに関心を持つ

将来に向けた地球環境の保全や、資源となる生き物の利用、豊かな自然が残る発展途上国の人びとの人権問題と支援等、世界レベルの条約やしぐみに関心を持つ。



ガラス・陶磁器の 再資源化エコアクション!!

2010年11月～



これまでWEショップで販売できなかった雑貨は、事業系ゴミとして廃棄処分せざるを得ませんでした。特に食器の占める割合は大きく、なんとかリサイクルできないかと調べていたところ、昭和38年からガラスの再生を行っているガラス原料製造・卸業者「(有)飯室商店」にめぐり合い、食器の再資源化が実現しました!

WEショップで販売できなかったガラス食器や陶磁器を回収して飯室商店に運搬し、破碎後、ガラス原料に再生されます。

ガラス食器は、ガラス瓶やグラスファイバー(住宅・家電等の断熱材)、道路標識や白線の反射ビーズ等に使われます。また、陶磁器は砂の代わりに土壤材料になるなど、さまざまなものに生まれ変わります。

2010年11月から始まったエコアクションで、限りある地球の資源を活かしていきます。

ガラス・陶磁器のリサイクルの流れ

WEショップで種類別に仕分け、回収する



回収されたガラス食器・陶磁器

飯室商店に運搬して破碎し、原料化する。



飯室商店に集められたガラスの山

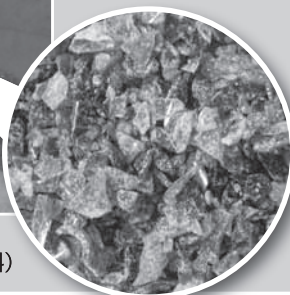


破碎し、ガラス以外の異物を手作業で抜き取る

さまざまな製品の原料として
生まれ変わる!



1 ~ 2cm の大きさになる。
(色とりどりのガラスはグラスファイバー原料)



「もったいないを活かそう！」開催



全国からの寄付品（衣類、雑貨、着物など）の販売、地域 NPO のリメイクチームが作ったリメイク作品の展示・販売を行います。またリメイク体験コーナーもあります。みなさまのお越しをお待ちしています。

日時：2011 年 3 月 1 日（火）11:00～18:00
2 日（水）11:00～16:00

場所：かながわ県民センター 1 階展示場
（横浜駅下車徒歩 5 分）

内容：寄付品（衣類、雑貨、着物など）の販売
リメイク作品の展示・販売
リメイク体験コーナー



会員になって活動にご参加ください

(年会費) 正会員
個人会員 10,000円
団体会員 50,000円
賛助会員
個人会員 6,000円
団体会員 10,000円

郵便振替

口座番号00210-9-46086
加入者名(特非)WE21ジャパン

他の金融機関からの振込先

ゆうちょ銀行 店番:029 店名:〇二九店
当座 口座番号:0046086
受け取り人名:(トクヒ)WE21ジャパン

ご寄付のお願い

<寄付金>

郵便振替
口座番号00270-9-67540
加入者名(特非)WE21ジャパン
他の金融機関からの振込先
ゆうちょ銀行 店番:029 店名:〇二九店
当座 口座番号:0067540

受け取り人名:(トクヒ)ウイニジュウイチジャパン
通信欄に「アジア・友だち・みらい貯金」、または「その他の寄付」とご明記ください。

<品物寄付>

WEショップへご持参ください。遠方の方は、WE21ジャパンまでお問合せください。

ボランティア募集

<WEショップ>

販売、仕分け・値付け等、WEショップでのボランティア。
お近くのWEショップへお問合せください。

<WE21ジャパン>

事務所、エコものセンターでのボランティア、イベントボランティア。
WE21ジャパンまでお問合せください。

WE21ジャパンのビジョン

私たちは、地球に住み暮らすあらゆる人々が、生きるために必要な条件や権利が公正なルールによって保障され、自律した地球市民として行動できる社会の創造をめざします。

WE21ジャパンのミッション

私たちは、地球規模で起きている資源の奪い合いや環境破壊・貧困をなくし、環境や人権について考え・行動する市民を地域に広げます。そして次世代へ希望ある市民社会をつなぐために、一人ひとりが身近にできることから実践します。

寄付・会員の報告 (2010年9月～11月)

(敬称略)

●アジア・友だち・みらい貯金

企業組合エコ・アド 古屋静江
星槎学園高等部 新関恵子
山田 小林久美子
横大路 匿名
内海敏子 WEショップざま相武
山崎由喜子 台店
横田克己 WEショップかながわ六
今村妙子 角橋店
WEショップあさお

●品物の寄付

オムロンフィールドエンジニアリング(株)
(有)三恵商
(有)タケカワオフィス
(有)ティーケーライン
お茶の水女子大学付属幼稚園
(株)スイーツ
東京青葉(株)

●フィリピン・ベンゲット復興基金

WE21かながわ ユニットかながわ

●その他の寄付金

渋谷美由紀 樋ヶ文子
沢田智子 辻真理子
正田敦子 WEショップいせはら
美馬啓子 池田智子
堀田マサエ 荒内史子
上原恵津子 高下房子
(株)ベルモ WE21港南
福井誠

物品寄付総数 410件

会員数(2010年11月30日現在) 個人正会員120名 団体正会員41団体 個人賛助会員19名 団体賛助会員3団体 学生会員1名



WE21 JAPAN地域NPO法人一覧

地域NPO	住所	TEL	地域NPO	住所	TEL
WE21 JAPAN厚木	厚木市中町3-18-5	046-296-2555	WE21 JAPAN青葉	横浜市青葉区柿の木台14-14	045-978-4198
WE21 JAPAN相模原	相模原市若松4-13-3	042-744-9799	WE21 JAPANかながわ	横浜市神奈川区松本町2-18-12	045-412-6757
WE21 JAPAN海老名	海老名市中央1-14-46-102	046-235-4047	WE21 JAPANほどがや	横浜市保土ヶ谷区川辺町2-2-103	045-334-5140
WE21 JAPAN大和	大和市福田1-9-4	046-269-1343	WE21 JAPAN旭	横浜市旭区中希望が丘101-21	045-364-3277
WE21 JAPANぎま	座間市入谷4-1881-28	046-251-3720	WE21 JAPANみどり	横浜市緑区中山町218	045-937-2656
WE21 JAPAN伊勢原	伊勢原市石田670-7	0463-96-5752	WE21 JAPANつるみ	横浜市鶴見区豊岡町13-29	045-573-3235
WE21 JAPANあやせ (準備会)	綾瀬市寺尾中1-8-3	0467-78-8178	WE21 JAPAN都筑	横浜市都筑区茅ヶ崎中央30-14	045-948-5596
WE21 JAPANひらつか	平塚市代官町11-30	0463-22-5258	WE21 JAPANこうほく	横浜市港北区大豆戸町60-1	045-547-6241
WE21 JAPANにのみや	中郡二宮町二宮1308-1	0463-71-4421	WE21 JAPANせや	横浜市瀬谷区三ツ境21	045-391-7410
WE21 JAPAN藤沢	藤沢市藤沢1102	0466-24-6002	WE21 JAPANいずみ	横浜市泉区中田東3-16-5	045-802-0095
WE21 JAPANちがさき	茅ヶ崎市共恵1-6-20	0467-88-6015	WE21 JAPANいそご	横浜市磯子区森2-1-10	045-761-3198
WE21 JAPANおだわら	小田原市栄町3-12-4	0465-23-2909	WE21 JAPAN港南	横浜市港南区港南台3-16-1	045-832-7343
WE21 JAPAN寒川	高座郡寒川町岡田351	0467-75-8141	WE21 JAPANかなざわ	横浜市金沢区泥亀1-18-8	045-788-4248
WE21 JAPANたかつ	川崎市高津区溝口3-15-8	044-829-5238	WE21 JAPANとつか	横浜市戸塚区矢部町291	045-866-0088
WE21 JAPANさいわい	川崎市幸区南幸町2-13-1	044-533-1248	WE21 JAPANさかえ	横浜市栄区桂町177-1	045-895-7009
WE21 JAPANたま	川崎市多摩区布田21-3	044-945-2427	WE21 JAPANみなみ	横浜市南区南太田3-5-4	045-715-4410
WE21 JAPANみやまえ	川崎市宮前区宮前平1-6-14	044-854-6561	WE21 JAPANよこすか	横須賀市根岸町3-15-12	046-837-1788
WE21 JAPANあさお	川崎市麻生区万福寺1-103-101	044-954-1348			

※WE21 JAPAN地域NPOがWEショップを運営しています。
 ※WE21 JAPAN地域NPOでは、会員、寄付金を受け付けています。

編集後記

仕事に詰まると、時々、事務所の前にある大きな公園で芝生に寝転んで空を眺めます。季節がめぐるに連れて変わっていく葉っぱの色や大きくなっていく木の実を眺めていると、あっ!とスバラシイ?考えがひらめくのです。これもおカネの価値では計れない自然の恵みですね。
 (森田)

WE21 JAPANニュース No.57
 発行 2011年1月1日
 発行責任者 藤井あや子

特定非営利活動法人WE21 JAPAN
 〒221-0052 神奈川県横浜市神奈川区栄町11-5栄町第2ビル3階
 Tel 045-440-0421 Fax 045-440-0440
 E-mail:info@we21japan.org
 URL:http://www.we21japan.org/